

# 札幌 市民防災

第16号

平成29年3月31日  
札幌市民防災団体連合会

発行責任者 田畑 隆二

## 平成28年度札幌市防災表彰式及び 札幌市自主防災講演会

平成29年1月25日14時より、札幌すみれホテルにおいて「平成28年度札幌市防災表彰式」が秋元市長出席のもと12団体の代表者に表彰状が授与されました。

この表彰は地域における自主的な防災活動に貢献された町内会など表彰するもので平成11年度から行なわれ今回で194団体が受賞されております。

表彰式授与後今年も札幌市と札幌市民防災団体連合会が共催で「自主防災講演会」が開催され、

当札幌市民防災団体連合会会長 田畑隆二より今後の展望のあり方等について話されました。

講師には「日本赤十字北海道看護大学教授災害対応教育センター副センター長 根本昌宏氏」により、テーマ「冬の災害発生を想定内にした地域に質する自主防災活動」と題した講演をいただきました。

北海道では冬季の被災経験は殆どありませんが、札幌市の想定では《伏在活断層による直下型震度7》が厳寒期で発生すると、死者8234名（夏季では1789名）、そのうち凍死者は6184名になると想定されること等についてふれ、大変有意義な講演会でした。

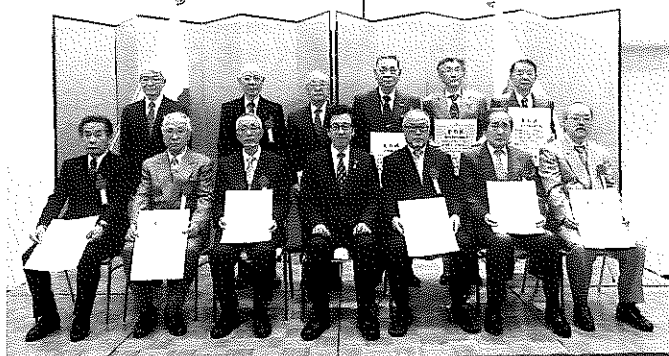


### 平成28年度 札幌市防災表彰式

#### 受賞団体

- 中央区 幌西地区連合町内会
- 北区 麻生連合町内会
- 茨戸中央町内会
- 東茨戸北町内会
- 東区 伏古本町地区3町内会  
(本町第10町内会、本町第11町内会、  
本町第12町内会)
- 白石区 川北町内会
- 厚別区 厚別区中央振興会
- 豊平区 東月寒地区町内会連合会
- 清田区 北野中央自治会
- 南区 王子団地町内会
- 西区 発寒連合町内会
- 手稲区 星置弘星町内会

平成28年度 札幌市防災表彰式



秋元市長と表彰式出席者



## 「防災」を地域づくりのキーワードとして

東月寒地区町内会連合会 会長 有田京史

当地区町連は、平成26年の9.11豪雨への対応の反省を機に、本格的に防災への取り組みを始めました。

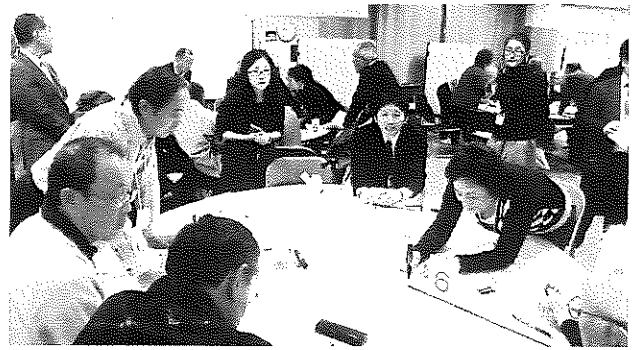
一昨年は、各町内会へ自主防災組織づくりを呼びかけ、昨年6月に各町内会会長との意見交換会を開き、7月には全町内会を4ブロックに分け避難地図作成作業を行い災害時の地域情報を確認し合いました。

併せて町連広報誌に「災害に備え」の連載を始めて地域住民の皆さんへも防災の基本情報や防災事業の進捗状況などをお伝えして行くことにしました。

11月には、しらかば台小学校を会場に避難対象町内会とともに避難所運営研修(HUG)を実施いたしました。HUG研修の第一人者定池先生をお迎えして非常に密度の濃い研修を行うことが出来ました。これからも東月寒中学校・豊平体育館など、当地区の他の避難所研修も順次進めてゆきたいと考えております。また、地区社協福まちの呼びかけで地域の福祉事業所等との懇談会を開き災害時の協力・連携についての話し合いも進めています。

このように当地区の防災事業は、まだ始まったばかりですので、市防災表彰を頂くのはまだ早すぎるの思いがありましたが、これから頑張りなさいという励ましとしてありがたくお受けした次第です。

高齢化が進む中で、誰もが暮らしやすい若い世代にも魅力のある安心安全な地域づくりを、誰もが一律に降りかかる災害への備え～「防災」をキーワードに進めてゆければと願っているところです。



東月寒地区町内会連合会

## 災害時に要配慮者の受け入れについて協定を締結

(4介護施設と緑ヶ丘町内会)

中央区南円山緑ヶ丘町内会 会長 矢萩弘志

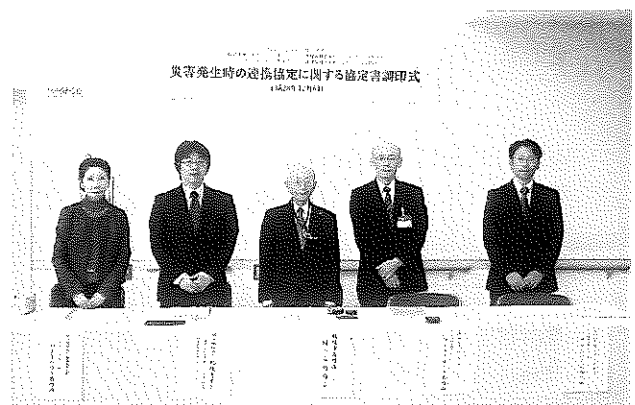
当町内会は、平成28年12月6日、地域内で介護老人福祉施設等を開設している、社会福祉法人札幌恵友会、株式会社ヴィラ、有限会社ケイアンドケイ及び社会福祉法人愛全会の4者と、大規模災害時に特に配慮が必要な方の施設受け入れに関する協定を締結した。

当地域は、带状に土砂災害指定地域等を抱えており、万一集中豪雨による土砂災害や大地震による傾斜地崩壊等が発生した際に、騒然状態の基幹避難所(小学校体育館)での生活が極めて困難と思われる要配慮者(高齢者、身障者、認知症者及び妊産婦等)が少しでも安らぎの出来る環境の中で避難生活を過ごして頂くよう、各施設が一時的に受け入れを行うものである。

約1年に及ぶ協議の過程で、各施設は受け入れ体制や運営面でのリスク等解決すべき多くの問題に直面したが、災害時の緊急事態において人命の安全、特に要配慮者を最重要視し厳しい施設運営の中で受け入れ協力の決断をされたものであり、その英断に深く感謝している。

災害時には、当町内会が主導し協定等に基づき対応するが、とにかく安全かつ迅速に受け入れて頂くことに重点を置いている。

また、新年度に数施設で緊急時を想定した受け入れ訓練等の実施を検討しています。



## 初めて取り組んだ冬季間の防災避難訓練

東区伏古本町地区3町内会(苗穂本町第10・11・12町内会)



苗穂本町第11町内会 会長 **山崎 富司**

昨年2月に東区苗穂本町3町内会合同で冬季・夜間の災害発生(地震を想定)時における避難訓練を市立本町小学校体育館で実施。

目的は、冬季間での避難経路の確認、避難での生活体験(暖房・照明・食料・生活空間等の状況把握)、避難所内での組織化と連携等を計画し実行。これには市・東区役所・東消防署・本町小学校・プロパンガス協会等の関係機関のご協力で実施。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。今回の大きな収穫は小学生のいる家庭が家族ぐるみで多く参加してくれたこと。これは将来の防災意識の向上に期待が持てたこと、さらに地域の高齢者が寒さ対策を完全に参加してくれた、そして地域の消防団が、この地域に適合した動きを自主的におこなってくれ、大変頼もしく参加者が感じていたこと。しかし、初めてのことであり、課題や問題点が多々ありその解決のため努力を積んでいく考えです。

この度、これらのことを評価いただき平成28年度防災表彰の荣誉に俗し、ご協力いただいた町内会関係者ともども大変感動しています。心よりお礼申し上げます。

これからは、地域住民の防災意識の向上と今後とも息の長い防災活動を展開していく所存です。さらなるご助言をお願いします。

## 「防災表彰をうけて」



南区王子団地町内会 会長 **齋藤 速也**

この度、はからずとも28年度自主防災表彰をいただき感謝にたえません。

当町内会は、65歳以上の割合が48%を超え、超高齢化地区といえます。また藻岩山の南麓にあり、町内全体が傾斜地という環境のなかであって、防災とくに緊急時の避難をどうするかを課題として取り組んでまいりました。

毎年、親睦をかね、防災訓練を行っており相互のコミュニケーションを深めるとともに防災意識の向上を目指しています。

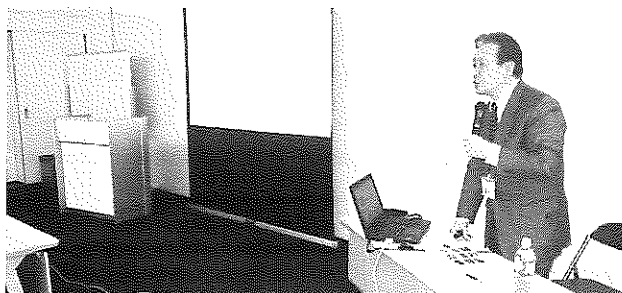
町内会独自の防災マニュアルを作成、全会員に配布、緊急連絡先の提出など災害時への対応策も作ってきました。今後はおひとり住い、高齢化宅の訪問を通し、避難困難者対策、防災用品の整備など木目細かな活動をすすめるとともに、地域にあった、避難行動のルール化など更なる防災活動をすすめてまいりたいと考えております。

## 札幌市民防災団体連合会創立10周年 記念講演会を開催

本会が創立10年の節目を迎え、昨年11月12日に市民ホールに於いて記念講演会を開催しました。テーマは『近年の地震災害について』“熊本地震に学ぶ風水害・土砂災害に備えて”と題して、講師には公益財団法人札幌市防災協会 事務局長(防災・危機管理専門官)細川 雅彦氏により行われました。

配布された資料の豊富なデータや写真による具体例が多く、今回の《熊本地震》をはじめ《阪神・淡路大震災(死者6,434人)》や《新潟県中越地震(死者68人)》などを例に、予想される災害への平素の心構えや環境づくりを解り易く話されました。

後半は【札幌でも同様の地震が起きるのか?】とテーマを絞って[活断層はあるのか][想定される地震・津波][住宅の耐震性][家庭内備蓄の大切さ][避難所の自主運営]など過去の災害から得たものを札幌の現況に当てはめて説明され、参加者から「大変参考になった!参加してよかった!」と絶賛を浴び1時間30分の公演会が終了しました。



11.12 セミナー 講師 細川雅彦様



11月12日セミナー



## 防災協働社会の実現に向けて

札幌市危機管理対策室長 河原正幸

札幌市民防災団体連合会の皆さまには、日頃から地域の防災活動に先進的に取り組まれており、その取組の全市への広がりにご尽力をいただいておりますとともに、札幌市の防災行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

「天災は忘れたころにやって来る」。物理学者である幸田寅彦がいったとされる災害への備えを戒める名言です。しかし国内では、昨年1年を振り返っただけでも4月の熊本地震をはじめ、8月の十勝地方等を襲った台風、10月の鳥取県中部地震、12月には糸魚川市の大火まで発生しました。いまや忘れる間もなくやってくるのが天災です。

比較的災害が少ないといわれる札幌市においても、3年前には道内ではじめて大雨特別警報が発表され、市では実に33年ぶりに災害対策本部を設置して対応にあたりました。昨年も8月の一連の台風では避難準備情報を発表し、あわやの事態に至る寸前でした。しばらく平和に慣れていた市民の中には、危険を肌で感じた方も少なくなかったと思います。

私たちは過去の災害から多くの教訓を学んできました。地域住民の助け合いや協力が被害軽減の大きな力になるといったことも、その大きな一つです。そこで市では地域の防災活動を推進するため、各種ハザードマップの作成と同時に防災資機材の助成や防災リーダーの育成、DIG、HUGといった地域単位の図上訓練の実施などを行ってきました。

このような取組のもと、いまではほぼ全ての町内会で自主防災組織が結成されていますが、一方で、取組が形骸化している、災害時に行政は何をしてくれるのか、などといった声も耳にします。まだまだ取組が十分な状況とはいえません。

このため平成29年度は、新たに「地区防災計画」の取組をはじめます。これは、町内会等が策定した地区レベルの防災計画を市の地域防災計画に位置付けようとするものです。既に計画を策定している地域は少なくありませんが、市の計画と整合を図ることで、市からいつどのような事態に、どういう情報が地域に発信されるのか、それを受けた地域は防災行動にどう役立てるのかなどがより明確になりますし、市が計画に基づいて行う地域の防災訓練を日頃から支援することで取組の継続性も確保されます。

さらには、スマートフォンなどの端末を活用して、災害時に近くの避難所や避難ルートを明示するなど、情報提供のレベルアップを図る「防災アプリ」の導入を進めます。

市では、このような新たな取組も推進することで、引き続き地域の様々な主体が連携・協力して支えあう防災協働社会の実現を目指してまいります。

札幌市民防災連合会におかれましては、会の今後益々のご発展と、会員皆さまのご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げますとともに、引き続き札幌市の防災行政に特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 編 集 後 記

広報発刊にあたり多くの連合会、自治会の皆様より貴重な活動紹介をいただき心より感謝申し上げます。広報紙につきましては皆様の情報交換の場ともなっておりますので、是非ご利用していただきたいとおもいます。5月最終金曜日総会を予定しておりますので日程の中に入れておいて下されば幸いです。

広報部長 渡辺 恵美子 (851-9583 TEL・FAX)

連合会ご加入していない団体につきましては是非ご加入をお願いします。

印刷所 北晃社 斎加印刷所  
札幌市西区八軒1条東5丁目  
電話 011 (631) 1271